

# 『さくら通信』 第207号 (2023年2月)

## (逗子診療所からのお知らせ)

住所：逗子市逗子4-1-7-101 電話：046(872)3530 発行責任者：内田 学

《ホームページアドレス URL <http://www.zushi-clinic.jp/>》

### 芹澤所長より 患者様へ

長らく大変お世話になりました。

この度一身上の都合により退職させていただきます。

この7年半の診療を振り返ると、逗子診療所では、国民の4人に1人が後期高齢者となる超高齢化社会が到来する（2025年問題）が他に先駆けて起きていたように思えます。

環境に恵まれ首都圏への交通の便が良い逗子・葉山では70年代に住宅建設が進みました。当時移住した方々は現

在すでに70歳後半から多くは80歳を超えているでしょう。そして高齢化により疾患を持つ方が増えました。

私の外来も初めは人数が分散して患者さんとゆっくりお話をすると余裕がありました。それが、この3年ほどは毎日混雑でお顔を見てお話しする時間が無くなりました。皆さんおなじみのかたなのですが、大半が慢性疾患なので7年半の間に来院患者数が膨れ上がっていたのです。

患者さんの顔色、声、足取り、全体の印象、それを瞬間に見て診察に移るのが内科医として

の私の診察方針でしたが、それさえ難しくなったのは誠に残念で日々心苦しさを感じて

いました。患者さんのほうでも長く待たされ、たにもかかわらず、短い診療が物足りなく不安や不満を感じた方も多いと思います。今改めて、この場を借りてお詫び申し上げます。

又、それでも私を信頼して下さい方には心よりお礼申し上げます。

逗子市の財政事情を考えると高度医療を行う市民病院の建設は悲願ではありますがなかなか難しく、それなりの検査設備を持つ逗子

診療所が果たす役割は今後ますます大きくなると思います。

4月からは、新所長と共に 医師、看護師、事務、全てのスタッフが力を合わせて、更に問題多く困難に直面する、これからの高齢化社会の医療を支えていくことを切に願っております。

皆さま、本当に有難うございました。

芹澤 豊次



体調の悪い方、  
来院せずお電話を

診療所では、感染  
予防のために窓口で

症状確認をしていま  
す。直接来院頂くと

外でお待ち頂く事に

なります。必ずお電

話でご相談ください。カルテが12月より稼働

また、発熱患者様す  
べてに対応できない

場合も出てきますの

でご理解をお願い致

します。

時折、症状を窓口で

申告せず院内で待機

している患者様が見

受けられます。院内

操作に慣れず、お待たせ

感染しますと、診療が継

続出来なくなりますの

で、ご理解とご協力をお

願いします。

電子カルテが

稼働しています

逗子診療所では、電子

カルテが12月より稼働

を始めました。



導入して間がないため

操作に慣れず、お待たせ

してしまうこともある

と思います。ご理解の上

お待ちいただけますよ

うお願い申し上げます。

「特定・長寿健診」は

2月末で終了しました

協会けんぽの家族の

方は3月末までの受診

になります。(協会けん

ぽ本人は当院ではお受

けいただけません)

ご予約は、午後2時以

降の時間帯で、診療所

窓口かお電話でお願い

します。



お世話になりました

15年もの長きに渡り、

私たちと一緒に診療所

を支えてくれました、

横田なおみさんが

12月に退職しました。

今までありがとうございました。

ご心配頂いた患者様に

報告が遅れてしまい申

し訳ありません。

「」迷惑をお掛けします

芹澤所長は2月末で  
診療を終了し有休に  
入ります。

3月の1か月の間は、  
代診の体制となりま  
す。

患者様には大変ご迷  
惑をお掛けしますが、  
何卒ご理解の程よろ  
しくお願い申し上げ  
ます。

体制の取れない午後  
は急遽休診になるこ  
ともあります。

事前にお電話で確認  
の上、ご来院ください。

事務長